

指定管理者制度導入施設の第三者評価結果

開催日	平成28年7月8日		
公の施設の名称	芦屋市聖苑		
指定管理者の名称	太陽築炉工業株式会社		
所管課名	市民生活部 環境課		
指定期間	平成25年4月1日～平成30年3月31日		
所在地	芦屋市三条町39番32号		
施設概要	聖苑（芦屋市火葬場） 開館時間 10:00～18:00		
業務概要	火葬場の管理運営業務		
収支の状況	事業計画上の金額	実績金額	
平成26年度収入	31,884,000 円	33,500,818 円	
平成26年度支出	31,884,000 円	33,500,818 円	
平成26年度収支	0 円	0 円	
平成27年度収入	32,803,000 円	32,803,000 円	
平成27年度支出	32,803,000 円	32,803,000 円	
平成27年度収支	0 円	0 円	
選定・評価委員	委員構成	氏名	所属・役職
	1号委員 (学識経験者)	豊田 孝二	アクシア法律会計事務所（弁護士・公認会計士）
	2号委員 (諮問に係る公の施設に関し専門的知識を有する者)	澤幡 敬直	セントラルコンサルタント株式会社（副技師長）
	1号委員 (学識経験者)	高原 利栄子	近畿大学経営学部（准教授）
	3号委員 (市職員)	北川 加津美	芦屋市 市民生活部長
評価対象期間	平成25年4月1日～平成28年3月31日の3年間		

評価項目	説明	点数	得点率	評価	
①適正性		各40	160	69%	B
施設保守・運営管理	施設の保守、管理が適正に実施されているか	32	110		
従業員管理・研修計画	適正に従業員が配置され、労働環境が保持されているか 従業員研修が十分に実施されているか	30			
危機管理	事故・緊急時の体制が十分に整備されているか	24			
個人情報管理	個人情報の管理が適正であるか	24			
②効率性		各40	120	58%	C
事業収支	事業収支は適切に算出され、計画に沿っているか	22	70		
財政基盤	財政基盤は安定的にサービスを提供できる状態にあるか	28			
内部統制	業務運営に関する内部統制は有効に機能しているか	20			
③有効性		各40	120	72%	B
事業計画性、透明性	事業が計画的に、かつ透明性を確保して実施されているか 提案されていた自主事業等に計画通り、取り組んでいるか	28	86		
サービス向上	サービス向上の取組みがされているか	30			
住民・利用者の参画	住民または利用者とのパートナーシップを推進しているか	28			
		得点率	67%	B	

利用状況等	項目名	平成27年度	平成26年度	平成25年度
		実績	実績	実績
利用状況等	10歳以上の者	856 人	928 人	919 人
	10歳未満の者	1 人	8 人	3 人
	死産児及び人体の一部	6 人	11 人	9 人
	動物	564 匹	632 匹	634 匹

総合評価	評価の理由
B	定期的な施設の保守点検を行い、他市でも火葬場の運営を行っているためノウハウがあり、概ね適正に管理運営が行われています。今後は、備品管理や事業収支については、市と指定管理者で協議の上、是正し、適切に取り扱って下さい。また、利用者満足度の更なる向上のために、アンケート調査の方法を見直し、結果を分析のうえ対策を講じてください。

総合評価結果	得点割合	
S	優良 90%以上	目標・計画を大きく上回る。優れた管理運営が行われたもの
A	良好 75%以上	目標・計画を上回る。良好な管理運営が行われたもの
B	適正 60%以上	計画に沿ったものである。適正な管理運営が行われたもの
C	要努力 60%未満	目標・計画を下回る。一部に課題がある管理運営が行われたもの

講評及び次期指定に向けての課題等

指定管理者に対する意見	施設所管課に対する意見
<p>【備品の管理】 市の備品台帳のコピーを有しておらず、施設の備品管理リストも現物を見ながら作成されたリストであり、複数の備品において、備品ラベルの貼付がされておらず、また、備品管理リストと現物も一致していないため、適正な管理ができるように市と連携の上、台帳整備を行って下さい。</p> <p>【施設の保守管理】 自社の火葬炉を導入し、製品についても専門的な知識を有しており、他市でも火葬場の運営を行っているためノウハウがあり、また、定期的に保守点検を実施していることは評価できません。</p> <p>【事業収支】 人件費の収支報告が事業計画と同額で報告されており、実績に合わせた金額を報告すべきです。 また、本社の経費である間接経費においても、施設所管課と配賦方法等を協議の上、事業計画の段階で考え方を明記し、同様の考え方にに基づき実績を報告すべきです。</p> <p>【利用者へのアンケート調査】 利用者へのアンケート調査を実施しているものの、回答がない状況です。施設の性格上、実施しにくいことは理解しますが、利用者の意見を直接確認できるように改善して下さい。</p>	<p>【備品の管理】 所管課と指定管理者の両方に、台帳の記載がない備品があったため、市の備品台帳の更新を行い、共有して頂き、備品管理の徹底を図ってください。 また、複数の備品において、備品ラベルの貼付がされておらず、現物と台帳との突合せが必要です。作成に向けて、指定管理者に市の備品台帳のコピーを渡す等の連携を図り、取り組んでください。</p> <p>【事業収支】 指定管理業務に係る収支等について、事業計画の段階で考え方を確認したうえで実態を把握できるように、管理してください。</p> <p>【BCP等の危機管理の確認】 緊急事態に備えたBCP等の策定内容を、指定管理者においてはISOの取得で対応しているとのことでしたが、芦屋市の施設に照らして、指定管理者のマニュアル等が緊急事態で対応できるかを所管課で確認してください。</p>